

平成27年度
第1回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成27年7月29日（水）

場所：鶴岡市朝日庁舎 大会議室

平成27年度 第1回 朝日地域振興懇談会会議録 (概要)

- 日 時 : 平成27年7月29日 (水) 13時30分から15時40分まで
- 会 場 : 鶴岡市朝日庁舎4階 大会議室
- 出席委員 : 敬称略・五十音順
安達文一、伊藤弘光、伊藤文一、井上時夫、工藤悦夫、佐藤照子、
佐藤宥男、帯刀とく子、松本壽太、山口弘美、渡部巖、渡部小枝、渡部順子
- 欠席委員 : 敬称略・五十音順
五十嵐英紀
- 市側出席職員
【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業課長、南部建設事務室長
総務企画課職員
【本所】企画部地域振興課地域振興専門員 地域振興課主任

一次 第一

【委嘱状交付】

1. 開 会
2. あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長・副会長の選出
5. 説 明
平成27年度の地域振興懇談会の進め方について
6. 協 議
(1) 朝日地域振興計画と平成27年度朝日庁舎予算及び主な事業の概要について
(2) その他
7. そ の 他
8. 閉 会

— 委嘱状交付 —

1. 開 会 13時30分 (進行 総務企画課 工藤課長)
2. あいさつ 佐藤朝日庁舎支所長
3. 委員紹介 総務企画課長
4. 会長・副会長の選出 会長 安達文一氏 副会長 佐藤照子氏
安達会長、佐藤副会長あいさつ

5. 説明

○総務地域振興専門員 説明 (資料1)

○委員

今までの地域審議会は、確か鶴岡市にもあったけれどもこの会には無いようです。その理由は地域に地域振興というか、鶴岡市には本庁があってそういうのは作ってないのかどうか。

○地域振興専門員

地域振興懇談会につきましてはこちらの第2条をご覧いただきたいと存じますが、地域振興計画に関する事項ということでご協議いただくことになっております。今回、皆様のお手元に届いております地域振興計画につきましては、鶴岡地域の振興計画を作成しておりませんので、今回は藤島地域から温海地域に設置しているものでございます。

○委員

そうすると、鶴岡市の今までの合併する前の市の振興計画は、作ればここにもあったということですか。

○地域振興専門員

鶴岡地域としては、それぞれの大きなエリアで行っているということもございまして、それぞれの地域の持っている特徴を活かした振興策をやっていききたいということで、藤島、羽黒など、また朝日地域で作っておりますので、鶴岡につきましては、全体的なそれぞれの分野で持っている計画の中で、色々な振興策を行っていくということで設置していないものでございますので、今回、計画を作らなかったということでございます。

6. 協 議

(1) 朝日地域振興計画と平成27年度朝日庁舎予算及び主な事業の概要について (資料2～4)

説明： 工藤総務企画課長

佐藤市民福祉課長

阿部産業課長

伊藤南部建設事務室長

○会長

はい、どうもありがとうございました。それぞれの27年度の事業から、予算そして振興計画の内容等についてそれぞれの担当課長から説明いただいたところであります。

それではこれから皆さん方から、ハード事業、ソフト事業から説明ございましたけれども、ご意

見あるいは質問をお伺いしたいと思います。事前に資料配布されておりますので、一通り目を通していただいたり、あるいはまた地域での懇談会でも説明されているとのことでありますので、せっかくのこの集まった機会ですので、できれば皆さん方から一言ずつはご意見や質問をいただければありがたいと思っております。

特に今回の資料の中で、朝日地域の振興計画では産業課のものがほとんどのようであります。そういう意味では、進捗状況等その他の方からもありましたけども、あらたな考え方等も若干ずつ出てきているようでありますので、そういうものも含めて皆さん方からご意見をいただいて、それらを参考にしてこれから進めていただければと思います。どうでしょうか。

○委員

それでは何点か考え方などをお尋ねしたいと思います。

第1点はケーブルテレビの関係でございますが、もちろんケーブルテレビ資材や放映がありますいろいろなお知らせなども掘り下げているわけですが、山間地域で非常時のこともあったり、いろいろな場面もお知らせの場面もある訳ですが、私認識不足で現在2,975件が加入いただいておりますということでございますが、櫛引と朝日の加入率はどれぐらいなものかなというお尋ね第1点。

それから第2点目でございますが、今年4月から従来の公民館がコミュニティ化になりました。地域住民と密接な関係があるわけでございますが、この3地区の運営状況または課題等について現段階でどうなのかという、各地域によって事業の取り組みなども違うと思いますのでその辺についておたずねをしたいと思います。その中で資料2の2ページ目の一番下の方ですが、南部・東部コミセンに職員が常駐になりますということでもありますけれども、もちろん中央も位置づけになっているかと思いますが、ここにあって中央ということが指定管理とかいろいろ説明ありましたが、記載がないのはどういうことかと若干疑問に思ったところでございました。

それから3点目でございますが、この地域におきますというと特に鶴岡市街地との関係で税外負担が日常生活の中で重荷になってきているわけでございますけれども、私たちここに住むものとして、当然自分たちでやらなければならない自助努力も必要でありますし、お互いに助け合うところの互助努力も必要であります。どうしても自分たちの手におえない部分は公助なり扶助なりで補っていただかなければならないわけでございます。そうしたときに、たとえば集落の座談会の時にも出たのですが、防災の非常用の消火栓のホースを地域で整備してくださいという一つの例が出ました。そうした時に地域によっては人口が不足なところがございます。市街地のように世帯数が多ければ負担も少なく済むわけですが、大きな負担をもって1戸当たりの負担が大きいというどうしても整備にブレーキがかかります。非常時の災害に使えないような消防施設であってはならないわけございまして、一つの例でございますが、それと同じように地域で鶴岡市といっても山間部から平野部があって山間地域に独特の自分たちでは成し得ないどうしてもできない部分というのは相当あると思うのです。そこは地域の審議会や懇談会あたりで議論していただいて本所からも理解をしていただくことが大事なのではないかと思えます。

均一にすることが平等だとか公平だとは思いません。地域は地域なりのどうしても成し得ない部分というのを背負っておられるわけございまして、これからは朝日地域の庁舎の職員から本所の方へ大きく訴えてほしいと思えます。そうでないとますます地域間格差が広がってきます。すべてがそうだということだとは言いませんけれども、今のような例ですとそんなことがあるのではないかと。そのために均衡ある国土の発展ということで地方交付税がなっているわけございまして、

ここの過疎地につきましても過疎の特別交付税があるでしょうし、水力発電交付金など地域独自の財源もあるだろうし、そういうものも何らかに充当されているとは思いますが、一般財源等でも含めて、ぜひこの地域独特の人口減少からくる地域力低下に伴うところの補完をお願いしたいものだと、声を大にして訴えていく必要がこれからあるのではないかと、ますます差が開いてくるのではないかと思います。

先ほど住民課の関係で説明が受けていて感じたのですが、ことばの教室が一つの例でございますが、ことばの教室が来年から見直しをしたいという報告がありましたのですが、現在何名在籍しているのかということもお尋ねしたいし、先生の問題ではなくて子供の問題だということも捉えておりますので、そのへんについて実際なくなった時に鶴岡とか近隣にことばの教室を受けることができるのかどうかということで、これは一生の問題でございますので、一人であってもそれは大事だと思っているものですから、そのへんについても視点を先生の視点ではなくて子供の視点から見た場合どうなるのかなと思ったところでございます。ざっぱで申し訳ございません。以上であります。

○会長

はい、ありがとうございました。最初のスタートというのは本当に大変だと思いますけれども、いろいろ質問、考え方をを出していただいたところです。今出されたものが5点ほどありますので、事務局の方からケーブルテレビ、コミセン化、税外負担、福祉のことばの教室ということで担当課長の方から説明をお願いします。

○総務企画課長

はい、最初のケーブルテレビの加入率ということで、今年の4月の件数だけで加入率を調べてなかったのですが、確か櫛引朝日とも85から87%の大体同じくらいだったと思っておりましたが、どうしても難視聴のところは100%加入ですし、熊出や櫛引でも転入者というかどうしても地上波が見られるものですからそういった方々の加入は大きくは進んでいないのですが、90%まではいかない加入率かと思っておりました。

コミュニティセンターの2地区、やっと運動会、敬老会が終わって、主要事業大きいところが終わったということで、中央はいきいき大学まだやっていますけれども、実はこの8月あたまから事業の総括、会計も含めてですけども、やろうかなと考えているところです。各コミュニティセンターとも大きな違いは無いのですが、どうしても中央は今までの5つの連絡協議会があるものですから、そちらの事業をまず優先というか一緒に進めているような形ですし、南部・東部については今ある組織、大鳥は2つあるものですから、大泉でやったものをまた大鳥でやるという事務局が大変なところもあるようですけれども、これから年度途中ですけれども今現在についてまとめていき、その後報告をしていきたいと思っております。なぜ中央に常駐が無いのかということですが、多分平日のことだと思います。南部・東部は今まで地区公民館単位でいたときは毎日日中に行けなくて、当然夜も何か事業がなければ、夜の場合は鍵を借りた人が責任もってみる訳ですけども、今コミュニティセンター化になったことによって、職員が平日午前午後とも勤務しているということをもっと詳しく記入すればよかったですけれども、記載方法がわかりにくかったということで申し訳なく思っております。

熊出でホースの件出ましたけれども、私どもも非常に心苦しいところがありまして、今までは自治

体で管理していたものが今は集落管理になってしまったと、その中でも2年前までは補助もあってその中で整備していったところもあったのですが、その後見えるところの補助は無くなり総合交付金の中に若干含まれているというようなことで、計画的に総合交付金のお金を使いながら整備して欲しいという話はこの前させていただいたのですが、どうしても大きい集落小さい集落、財源的には事情も違ってくると思いますけれども、今回についてはこういった一つの例として皆様方から意見をお聞きしながら、上の方に話をしていくところはしていきたいと考えているところでございます。

○市民福祉課長

ことばの教室についてですけれども、生徒数は8人と聞いておりまして、年長児が5人。ですからその子たちはもうすぐ卒業しまして小学校に入学するとのことです。このことばの教室は幼児を対象にして朝日地域で独自にやってきた事業でありまして、残り年少と年中の子が3人残るわけですからけれども朝陽第二小学校の方にご案内する予定ではおります。ただそこまで遠くて大変だとか具体的にどうするということはまだ決めてお話しはしておりません。

○委員

資料3の番号69番ですけれども、産業課の月山あさひ博物村管理運営事業とありますけれども、ここに文化創造館の改修事業とありますが、具体的に内容、どんな改修事業なのかおしえていただきたいのですが。

○産業課長

月山あさひ博物村につきましては、市が行革大綱でいろいろと課題を投げかけられておりましたが、身近なところで、山ぶどう研究所はこの4月から農協さんの方に無償でやりました。それから大梵字につきましては、去年から公の施設からはずして普通財産ということで、指定管理者である三セクの方に貸し付けを行っています。それからアマゾン自然館はご承知のとおり廃止をして、今現在、中の利用について文化創造館と同じように今再利用について計画を立てているという状況でございます。

それでご質問の文化創造館の改修の関係でございますけれども、平成5年にオープン以来、旧朝日村の名誉村民の方が所持していたお面や彫刻、それから森敦の関係の複写ですとか、こういったものをやりながらやってきた訳ですけれども、なかなか思うようにお客が入らない。その後、指定管理者の方でもっと子供たちをターゲットにしようということで、ここ数年間「恐竜展」などをやっています。それで今回行革の中にも出たのですが、やはり文化創造館につきましては六十里越街道、いわゆる自然のプラットホーム的な役割に方針を変えていきたいと思いますということで、今現在、新たな改修の構想が大分練りあがってまいりました。繁忙期には工事いたしませんけれども、概ね9月頃にあがってまいりまして、関係機関と言いますと六十里越をやっているアルゴディア研究会、それからいろいろな趣味の方々、利用してきた芸術の方々とも協議を重ね、いろいろな方の芸術発表なり、六十里越の参加者の拠点にしていこうという内容で、間仕切りを作ったり、一部バリアフリー化をしたり、そういった形で改修する予定でございます。改修については12月頃に工事を発注して、約400万位の工事ですので3月には終わって4月から新たにリニューアルオープンします。この中には国交省酒田河川事務所の方からいろいろとご支援をいただいております、こうい

ったものと一緒にやっていくという形でございます。

○委員

その件に関してですけれども、実は常々思っていたことなのですが、あの施設に上がるときにクルッと車で回ることができません。あの入り口まで行ってターンしてこなければならぬですけども、杖をついた高齢の方を連れて行くにしても、杖をついて上るには結構な傾斜で、車で送っていくにしても向こうでゆっくりUターンして戻ってくるところが狭すぎます。下から車いすの方ですとか、足の悪い方をお連れするにはちょっと結構な傾斜かなと思っていました。

やはり、下の駐車場までは皆さん降りられるかもしれないですけども、あの坂を見たときに、足の丈夫な方はするすると上るかもしれないですけども、やはり足の不自由な方ですとか高齢者がちょっと入るには厳しいかなと。車で回って入り口で乗っている人を降ろして、一周施設の周りを回って駐車場に降りられるような整備も、もし一緒にしていただけるのであればもう少し利用者の方が増えるのかなと。ちょっとやはり基礎が高くて、あの傾斜だと厳しいかなというのと、上に駐車場が無いのでどうしてもあの坂を見たときに上っていくには勇気がいるのかなと思ったりします。モノを搬入搬出するにしても不便じゃないかなと常々感じています。400万の予算ではなかなかそこまではいかないかもしれませんがその辺はいかがでしょうか。

○産業課長

大変貴重なお話をいただきましてありがとうございます。今年の400万ではとてもできません。私も現地、充分わかりますけども、たいした施工を施すこともなくクルッと回ることが可能な場所でございますので、ぜひとも新年度予算要求については弱者対策、おいでになる方を増やすということで理屈をつけながら、予算要求で何とか確保して参りたいと思っております。後方支援方よろしくお願ひします。

○委員

婦人の会といってもほんの数名で会を運営していて、主なボランティア事業として花壇の花植えから草むしりを管理しています。そして、先程の南部建設の方の説明で、県のマイロード事業を活用させていただき、少し助成をいただきまして運営に役立っております。草が多く生えているときもありますけれども、今年は1回目行い、また8月9日にお盆に向けて草むしりを行うこととしております。また9月の終わりごろ1回むしりたいと思っておりますので、「きれいだな」と見ていただければと思います。去年は酒田交通事務所の方から道路の表彰をいただいております。会員が少なく高齢化になっていまして、皆さん大変だと思っておりますけれども、協力して下っておりますので、私も代表を務めていることができ本当にありがたいと思っております。本当に少ない人数ですので、ボランティア花壇の方をしたいと思う方は、どしどし会員募集をしていますので、若い方に加入していただければと思っています。

それからもう一つ質問したいのですけれども、ふっくらの関係ですが、話によりますと社会福祉協議会も今年度中に庁舎の方に入ると言っておりました。あそこには誰もいなくなって、あの綺麗な建物が真っ暗闇になる、どのような活用をされるのかお聞きしたいです。

それからもう一点ですけれども、この間ぼんぼりに行ったとき、たまたま出羽三山の方に行って帰ってこられたオランダ人のご家族の方がお風呂に入っていたときに遭遇しました。そして一人の方はカ

タコトの日本語がわかるようで、受付の方とおしゃべりをしていました。今の時代に、ミイラなど朝日村にありますので、これから外国人がこられると思いますけれども、外国語というまではいかなくとも、何か考えというのはないのでしょうか。取り留めのないことで申し訳ありませんがよろしくお願ひします。

○南部建設事務室長

花植えの話、マイロードサポート事業はあさひ婦人会と、岩本越中山関係の自治会3団体入っており、あと建設会社さんが1団体入っています。最終的に5団体なっています。今話いただきましたけれども、わずかな助成金ではありますが、こういう地域づくりの活動に活かしていただければと思っています。また、こういった話を伝えていきたいと思っていますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○市民福祉課長

それではふっくらのことについて、事業の説明では触れなかったのですが、保健福祉のワンストップサービス化ということで、ふっくらを建設した平成12年に市民福祉課の職員もふっくらに移り、そこに社協も入り、隣に包括支援センターができて、ふっくらを拠点に保健福祉課のワンストップができていたわけです。合併によりまして庁舎の職員も減り、庁舎のスペースも空いたため、市民福祉課の職員としては庁舎にいた方が何かと都合がいいということで、それは庁舎の職員としての都合ですけれども、平成24年頃に戻ってきたことから、今度は逆に社会福祉協議会朝日福祉センターと包括支援センターあさひさんから、庁舎の市民福祉課の脇のフロアに入っていたら、今度は朝日庁舎の方で健康福祉のワンストップサービスを行いたいと考えておりまして、今年度内に社協さんと包括支援センターさんから朝日庁舎の方に入っていたらというお話をさせていただいているところです。そこでふっくらですけれども、あれだけの立派な施設が本当にもったいないのですが、今のところは日中は誰もいない、事業があるときはシルバー人材センターに鍵の開け閉め、それからゴミの片づけ管理なども委託する予定です。私たち市民福祉課の事業につきましては、職員が鍵の開け閉めをしますので、確かに日中誰もいない時があるかもしれませんが。時間帯によっては誰も利用しない時があります。ただ、今でも週4日ぐらいは平均的に利用していますので、何とかシルバー人材センターにお願ひしながら活用していきたいと考えているところです。

○産業課長

3点目、インバウンド対策ですが、ご承知のとおり東京オリンピックも6年後です。それに向けて官公庁ではいわゆる外国人旅行者、いわゆるインバウンドと言っていますけれども、2000万にしましょうということで英語・韓国語・中国語、最低でもそれだけを併記したパンフレット、それから通訳ものを掲げて、今、全国展開でやっているわけでございます。朝日地域においては、実は昨年度末ギリギリでございましたけれども、国交省さんから100万いただきまして、六十里越街道にやはり外国人が来るものですから、その対策で初めて外国語併記の英語版ですけれども、パンフレットを作成させていただきました。今年もまた即身仏4体の英語バージョンも今回計画をしております。ところが庁舎でも英語ができる職員は誰もおりませんし、なかなか本庁舎にもおりません。100万のパンフレットを頼むと、翻訳をしていただくだけで15万から20万かかるのです。そういった関係で、県の方に照会しましたところ、2分の1の支援があるという制度がわかりました。そういうもの

も活用しながら、ぼんぼやグー、博物村、周辺の米の粉さんといった最寄りの観光施設に、鶴岡市のここに行けばこういう観光地があるよというようなパンフレットを、早急に整備していかなければならないと強く考えております。このことについては観光物産課、企画調整課の方にもお話をしておりますので、何らかの形で来年度は動きがあるのではと期待をしたいと思っておりますし、動かしていきたいというように考えております。それからもう1点はやはり、市が抱える公共施設の看板類等についても、「ぼんぼ」とは英語ではどういう施設なのかという、最低限の英語併記の看板等は併設しておく必要があるのではないかと痛感しております。朝日地域では、ほかの地域でもやっていますけれども、また今年も一つはやりたいと思っていますので、朝日地域発の全市的に広がりを持てるような事業展開になるよう、本日の委員の皆さんの強い要望という理由をつけて予算要求等々に臨んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

○会長

外国人の対策これから大事な部分ではないかなと思いますのでぜひ進めていただければと思います。時間3時までと言いましたけれども、もうちょっと時間を延ばして皆さん方からご意見をいただきたいと思っております。

○委員

外人さんの話が出ましたので、昨日おとといでしたけれども、お寺さんの即身仏がブームで、外人の方がリュックをしょって家の前をちょうど歩いていました。そこで、どうしようか迷ったのですけれども、「こんにちは。ご苦労さん。」とだけ言ってみたのですが、振り向かなかったのです。やっぱり英語なのだと思った訳で、今ちょっと余談でそういうことがあったのでお話をしました。

そして、福祉課の方のことばの教室の話に戻りますけれども、2年、3年前になりますか、うちの孫が2年間通いました。私が付き添って行きましたが、果たしてどういう言葉遣いが悪かったのかな、どういう内容でここで勉強しなければならないのかなといういろいろ疑問に思い、その先生にお話を聞きましたところ、保育園の先生方の考えからですよということをおっしゃいました。何かガイドラインのようなテスト的なものがあったのかお聞きしたいのですが、またこれから孫が生まれるかわかりませんが、おばあちゃん役として疑問に思ったものですからお聞きしたいと思っております。

○市民福祉課長

ことばの教室にお孫さんがなぜ通われたかというのが、よくおうちの中で理解されていないということでしょうか。

○委員

わからなかったものですから、4歳5歳の子どもの会話にしては赤ちゃんぽかったのかなと解釈しましたけれども、そんなに通うほどの言葉づかいではないのではと家族で話しました。2年間通わせて習いましたけれども、マークシートチェックとか、何かあるのかなと思ったのです。

○市民福祉課長

元々朝日地域で、保育園の先生たちの動きから、ことばの教室を小学校に入る前に早くから始めようということで始まったとは聞いていますが、一人ひとりについては、おうちでも気づいているお子

さんもいらっしゃると思いますし、その辺りそういったテストがあるのかはわからないのですが、おうちの方も理解されて、保育園でも気づいてということで進んでいると思っております。なぜ今、朝日のこの事業をやめよう、やめてもいいのじゃないかと言われているのは、本当に大変ではない子も入っているというところがあって、本当に大変な子もいると思うのですが。

○委員

一緒に行った、知っているおばあちゃんにも、そんなにはないはずだどもなど言っている方がいました。今のところ順調に2年生になっていますので大丈夫ですけれども、今後のやり方として見直しの時一緒に見直されたら。

○市民福祉課長

ありがとうございます。もう少し私も把握したいと思いますが、2年生になったお孫さんが2年間通われて良かったのか、通われなくても何も影響がなかったのかわからないのですが、これからの出し方を決めていきたいと思います。一生の問題で重度のお子さんにとっては大切なことだと思いますので慎重に進めていきたいと思います。

○会長

はい、よろしいですか。それでは次に今回初めて参加された委員の方、地域のこととか何か気づいていること、考えていること何でも結構です。声を出すと次から楽になりますので。

○委員

朝日地域振興計画というこの冊子を本当に丁寧に読ませていただきました。ところがですね、2ページ「3. 地域のこれからめざす方向性」とありますが、朝日地域はこんなにまでも少子高齢化が進んでいるにもかかわらず、ここの文面の中に何一つ対策が見えてこないというのがちょっと残念な気がしております。これが1点と、それからページ進みまして8ページ「(2) - 3. 観光資源の再生と人材活用」とございますが、活用の以前にまず「人づくり」という項目が必要なのではないでしょうか。例えば、森を守って農耕に従事する後継者が不足しているのが現状でございます。そういう項目もございませんし、人づくりという観点がちょっと落ちていると言うと語弊があるのですが、不足しているのではないかなど、私なりにそんなことを考えました。よろしく願います。

○会長

はい、大変素晴らしいところに目を向けていただいています。計画というものが立派にできているということなのだけでも、そういう部分にこれから担当者としてどう向いていくかというのが今日大事なテーマの一つでありますので、担当課長の方から回答をお願いしたいと思います。

○総務企画課長

当然そういったものも含めて1期の計画がそうだったと思うのですが、26年から30年ということでありまして、これは計画ですけれども、必ずこうしなければならないということでもないし、これ以上のこともやってもいい訳ですので、対策等ここでうたっていないということですが、充分気を付けて、これからの計画進行管理に活かしていきたいと思います。大変どうも貴重な意見あ

りがとうございました。

○産業課長

(2) - 3の人材活用の前に人づくりという文言が必要ではないかというご指摘でございますが、こちら読んでいただくとわかるのですが、人材の育成ということで中には入っております。要するに人材の活用というのは、朝日地域内に地域外も含めてでございますけれども、もっともっと隠れた人材がいるということも表に引き出していただきたい、表に出ていただきながら経験のない方がその人について行って人づくりが自然的に出来上がっていくという、そういうイメージがこの中にありまして、あえて「人づくり」という言葉は出しておりません。いわゆる人材を活用してそれに新たな人づくりを付加させていこうという考え方です。それからもう一つ、山を守る人、担い手育成と言いますか、農業の中で人づくり、担い手育成という言葉はあちこち出てくるのですけれども、具体的には認定農家などの制度事業になって物事が展開していますが、なかなか若い人がそれに従事してくれない出口ベースで大変な悩みがあることは事実でございます。そうだからといって農地を荒れたままにしておく訳にはいきませんので、農地の集約、法人化など、そういった形の方へ行政そのものが偏ってしまうという現実があるということでございますけれども、決して私どもは担い手育成を忘れているわけではございません。あらゆる機会を通しながら、鶴岡市全体でも、新たに新庄の農学校に行かなくとも、鶴岡で新たなIターンなりJターンなりをどこかで取り組むことができる仕組みづくりをやっています。ただ今、言われたことは改めて心におきまして、機会あるごとに行ってまいりたいと考えております。ありがとうございました。

○会長

はい、よろしいですか。どうもありがとうございました。それではもう一方、初めて参加されていると思いますけれども、何か考えていることでも結構です。

○委員

もしマイクがきたら言おうかなと思っていた話を、今、されてしまってちょっとびっくりしているのですが、確かにそのとおりだと思います。私も中学校のPTAでいろいろな地域を回らせていただいて、特に大泉地区では、自治会長さんやいろいろな方が、子供がいない人がいないとのことで活気がないという話をこの間も聞いてきたばかりで、それについてのお話をきければなと思っておりました。

あと同じく振興計画を見せていただき、質問でもないのですが、非常に期待を込めた意見ということで「(2) -1. 六十里越街道“癒しと再生の道”づくり」というところで、③トレイルランニングのところ、ここの文章にもあるように、非常にランニングブームということで、私も実はちょっと走らせていただいているのですが、やはり鶴岡市内でも羽黒山の石段マラソンとか全国大会とか、日本全国から人が集まるような大会がある訳ですけれども、朝日の地域で資料2番の(1)ですね、イベントの事業ということでここに5項目載ってますが、全国から人が集まってくれるようなイベントがあるのかなというふうに考えると、そういったところで朝日は少し残念だなと感じているところでした。トレイルランニングで、私も六十里越街道を歩いたことがあるのですけれども、実現するには難しいかなと思うのですが、もしこれが実現できるとすれば日本全国から愛好家たちが、いろんなところから来ていただいて朝日を知っていただいて、そこでまた人が出会って子供の方も増えていくと

いった意味の話に持っていければいいかなとも思っておりますので、ぜひこちらの方期待を込めていったところでいかがでしょうか。

○産業課長

トレイルラン、私も長距離走ってましたのでこういったもの大好きです。実は六十里越街道では2年前、まちづくり塾メンバーでトレイルラン試走をやりました。実際歩いてみるとわかると思うのですが、大鳥池などと違って、落ち葉で下も非常によろしい道なものですからトレイルランにはぴったりの場所だと思います。私ども行政としてしかけるのも一つの手かと思えますけれども、やはり地元に住む若い人たち、一生懸命やってみようというスポーツに関わる人方、それを応援する方々がですね、一丸となってそういう計画を作っていただいて、この部分は自分たちでやるしこの部分は行政でやって欲しいよなというような展開というのが、これから求められる行政の政策だと私は考えています。例えば、地元の商工会の方々が一生涯懸命やってきて、ここからはなかなか手が届かないので行政に何とかお願いできないかということで発展してきたのが六十里越街道でございます。そういった意味で、新たな事業展開をするとき、特にソフト事業については、大変申し訳ないのですが行政は3、4年で人事異動や退職になったりする部分がありますので、仲間を集めていただいて計画を作って、この部分は我々と役割分担を話し合うような形でイベントを推進していけば長続きするのではいかかと、経験上そんなことを申し上げたいと思います。ぜひやっていただければ、朝日地域振興のみならず、大きなスポーツイベント、山岳自然イベントとして定着していくと私は考えます。

○会長

よろしいですか。それでは、時間も大分おしてきてますので、指名をするのはこれで終わりたいと思えますけれども、自主的にこれだけという方ございましたら提案をいただければと思います。

いろいろな意見が出てきましたし、これが次回の会議にまた繋がっていければ、少し足りなかったかなというくらいが一番いいと思います。そういう意味では自然に出てきた言葉が一番いい意見になってくると思いますので、もし皆さん方から質問と意見が無ければ、これで(1)の内容等についての質問意見は終わらせていただきたいと思います。本当にいろいろありがとうございました。

(2) その他

○説明 総務企画課長

2ヶ年の任期があるということでございますので、毎回こういった意見をもらって終わるということではなく、何かひとつテーマを持ってやっていければと考えております。朝日地域は課題がいっぱいありまして、ご存知の方も多いと思えますけれども、例えば公共交通対策ということで、庄内交通さんで2年後には落合までは出しますがそれから先は出しませんよという話が、今提案されております。非常に大きい問題でありますし、大網地域、大泉から先の地域、これについては当然懇談会だけではなく、自治会の連絡協議会ですとか、いろいろな場の中で話になっていくと思えますけれども、できれば懇談会の中でも話をしていければと思っておりますし、その他、皆さん方からそれぞれテーマについて次の回までで結構ですので、提案をいただきながら決めていければと考えております。今日の段階につきましては、テーマを持ってやるかどうかということでご協議をしていただければと感じているところであります。よろしく願いいたします。

○会長

今、事務局の方から説明ございましたとおり、せっかくこのように集まる会議ですので、言いつばなしで終わるのではなくて、真剣に何かを考える機会にしたらどうかという提案の考え方でございます。何をするかというと、今は難しいことはあると思いますので、そういう方向でやるのか、いやこれは必要ではない、しなくてもいいということなのか、そういうことを皆様方から1人か2人にご意見をお聞きしたいと思います。やはりどうしても振興計画とかそういうものにつきますと、最後には予算がないのでできないということがほとんどでありますけれども、ただ予算の前に、予算がなくともできるものが何かないのかということまで含めて何か考えるということは、非常に大切なことだと思いますし、計画があってあとそれで終わりということにならないように進捗状況を常に確認しながら、前に進むような方策をみんなで考えていくというのも一つの方法だろうし、そういうことも含めてどうなのかなということでもあります。

今の考えについてどのようにしたらいいと思いますか。

○委員

テーマを決めてここで議論して終わりではなくて、やはり行動なり結果につながるというか予算なりとつながってこそそのテーマであると思いますし、変化が見えるということも必要だと思います。それから、非常にこう湿っぽい感じというか、ムードなのですが、合併する前から朝日村は何十年間にわたって過疎対策ということで力を出してやってきたという経緯があると思います。その結果が形として今ハコモノばかりできてしまって、それを解体する予算も大変だというような現実があるのかなと思っております。そういう中でどんどん進んでいったら、誰もいなくなれば予算はいらないのではないかという気がします。それでいいのかということでもあります。それからマスコミが悪いのかわからないけれども、地方創生大臣という素敵な名前的大臣が出たかと思えば、全国の何割は誰もいなくなるみたいな意見がある訳で、そういう中で地方創生の分では今はやりの要望コンペというか素敵な意見を出したら採択するし、月並みだったらやめるしということがある訳です。そういった中で、合併鶴岡市の中でこの朝日地域、文言ではより特色あるまちづくりで振興発展に向け書いてあるわけですが、整合性をもっていったらこんなことはできるわけがないのではないかというような気がします。朝日地域振興計画これから5年間というのがありますけれども、この通りというのではなくて、やはりこれからはみ出すような特色ある意見なりカラーなり若者であったりかいてこそ、生き残れる力、パワーがあるのではないかなという気がします。非常にこのテーマというとなかなか難しいですけども、この説明だけでというか地域審議会、今までも審議会でお世話になってきたわけですが、それらとあまり遜色ない内容だなという気がして、結果も同じようなものなのではないかなという気がしております。

○会長

はい、意見として聞いておくということでさせていただきます。

確かに地域審議会は答申という形をとっているようすけれども、今回の場はあくまでも意見を聞いて、それを市政あるいはまた事業に反映をさせていける1つの参考にするというようなことが目的にもあるようですので、常にいろいろな意見をいただいてそれを確認しながらやるということではないかなと思っています。

○委員

進め方というか、今ちょっと驚いたのですけれども、2年後に庄交が手を引くという、今初めて聞きました、なんかいつも大鳥の方まで50人も乗れるようなバスが行ったり来たり、空で行っているのを見て、何とかならないものかなと前から思っていたものですから、そうしたところにこの資料3の4番目総務企画課のヒト・モノ移動物流促進事業という、モノの方はグーの方にお世話になっていて、ちょっと見ていた訳ですが、ヒトの方、いい方法を見つけられれば大変いいだろうなというふうに感じていました。やはり人口減に並行していくようなテーマになるのではないかなと、そういうような感じで今話をきいていました。時間も無いということですので、もう一つ、ハコモノばかり残ったということでもありますけれども、旧大泉小学校の建物が耐震工事もできて、みんなそろったところで閉校になったわけで、今、市のいらないものの置き場みたいになっている、それ何とかならないかということで、時々地域の人と話していると、老人施設にするしかないという話が出てくるけれども、ベンチャー企業というか、いい考えはあるけれども場所と金がないからできないというような人に、タダでもいいから少し貸してやれるような人がいたら貸すことができるのか、そういうような方向考えてみたらどうだろうかかとずっと前から思っていたものですから、それを言って今日は終わりたいと思います。

○総務企画課長

はい、今も大網保育園はトンネル業者に貸してますし、企業等で使いたいとなれば当然中身は審査となりますけれども、なるべくそういったものについてはお貸しすれば使用料等も入ってくる訳ですので、それに有効利用にもなるということで、ついてはできるということになります。地元のこの間の住民懇談会でも話出ました。このことについて、まず地元の利用の考え方とかをまず第1にしたいなと、当然行政も一緒になって話をしていこうと、とりあえず地元の考え方がどうかということでも話をしてきたところであります。その後、どうしても何年も経って利用がないとなれば、今言ったとおり企業とかいったところにもお貸しすることは可能かと思えます。以上です。

○会長

(2)についてはいろいろ難しい部分もあろうかと思えますし、次回の会議の中身と合わせて、少しこの部分について集中的に議論していただいたり、その時その時で検討させていただくということで、今回は特に何か別のテーマでということにはあまり触れないで、今年の3回についてはその時その時に出てきたことについてご協議いただくということでよろしいですか。

○委員

ここに住んで皆幸せを感じるそれぞれ価値観を持って住んでいくということについては多種多様な個人差もありますし、いろんな要件が条件が様々あると思うので、これぞと思う対策が無いにしてもその中の何か1つ1つはそれぞれ重なっている訳なんで、そういうさっき提案のありましたテーマを受けてやるというのも私はそれもいいと思います。ただ要はここで議論しても実際実行できなければ意味がない訳です。したがって、いろんなテーマでそれ議論しても一問一答の形では私は意味無いと思うんです。当局と一緒に課題をどうしていくか、地域課題をどう解決していくかという一緒になった議論でない私は意味無いと思う。こっちで質問して一問一答の話では意味無い。したがってここに住むここにある課題を共に語り合っ前に進めていく、そういう会であって欲しいという

ふうに思います。

○会長

はい、大変大事な部分だと思います。そういうことを一つ一つやることによって振興計画の達成というそういうものにつながってくるだろうし、そういうこともやっぱり頭の中に入れながらいろいろな形の中で進めていければと思います。今日は予定を3時ごろと言いましたが、皆さん方の活気ある意見で30分延長させていただきました。とりあえず協議等については終わらせていただきたいと思います。本当に皆様方のご協力ありがとうございました。

7. その他 (なし)

8. 閉会

○副会長

本日は暑い中ご苦勞様でした。これをもちまして本日の朝日地域振興懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。

